

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	教育実習事前・事後指導(幼稚園)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の意義と目的、実習生としての心構えを学ぶ。 2. 幼児の発達特性や発達過程を踏まえ、幼児理解や観察の視点・方法を習得し、目標とめあてをもって実習に臨む態度を育成する。 3. 実習後に総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。 					
授業概要	教育実習は、習得した知識や理論を、実際に体験する場であることを理解し、目標とめあてを持って実習に臨み、教育の理解を深め、実践力と教師の使命感を身につけ、資質を向上させることを目的とする。そのために、教育実習における日誌や個人記録の取り方の多様な視点を学び、幼児教育の実際や各自の教師としての能力・適性について認識を深める。					
テキスト	教育実習事前・事後指導(幼稚園)(姫路大学)					
授業計画	第1回	実習に必要な心構え、マナー、資質の理解①				
	第2回	実習に必要な心構え、マナー、資質の理解②				
	第3回	教育実習の意味 実習に向けての自己分析・自己課題の作成①				
	第4回	実習に向けての自己分析・自己課題の作成②				
	第5回	実習に向けての自己分析・自己課題の作成③				
	第6回	子ども理解と援助・支援技術の理解① 教育環境と子どもの実態				
	第7回	子ども理解と援助・支援技術の理解② 教育環境と子どもの実態				
	第8回	指導案、記入に必要な事項 様々な記録の取り方①				
	第9回	指導案、記入に必要な事項 様々な記録の取り方②				
	第10回	指導案、記入に必要な事項 様々な記録の取り方③				
	第11回	指導案の作成① 題材、活動内容等の記入				
	第12回	指導案の作成② 援助、支援等の工夫				
	第13回	子ども理解、実態把握からねらい、活動内容の再考察①				
	第14回	子ども理解、実態把握からねらい、活動内容の再考察②				
	第15回	まとめ 目指す授業と自己課題の再設定				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	学校保健	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	大滝 則子	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	小学校,中学校,特別支援学校養護教諭としての実務経験を活かし、現場で求められる養護教諭の資質に基づいて実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	教育と管理の側面から広義の学校保健活動を実践することのできる知識をみにつける					
授業概要	児童生徒にとっての学校は、教育の行われる場であるとともに健康な生活が行われる場である。児童の健康の保持増進を図り学校教育を円滑に実施するための学校保健の知識・技術を学ぶ。					
テキスト	学校保健(姫路大学)					
授業計画	第1回	学校保健とは				
	第2回	学校保健行政と学校教育・学校保健組織活動				
	第3回	学校保健計画・学校安全計画・保健室経営計画				
	第4回	保健室から見た健康教育				
	第5回	保健学習について				
	第6回	保健教育教材について				
	第7回	健康観察、保健調査・健康診断				
	第8回	発育・発達・特別支援教育				
	第9回	疾病の現状と予防				
	第10回	こころの健康問題				
	第11回	感染症予防と対策・救急処置				
	第12回	学校環境衛生				
	第13回	学校安全と学校危機管理				
	第14回	学校保健委員会について				
	第15回	これからの学校保健・関連法規・まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	養護概説	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	1. 養護教諭の職務を答えることができる 2. 養護教諭の役割について説明することができる 3. 養護教諭に求められる資質能力について述べる 4. 自分の目指す養護教諭像を説明することができる						
授業概要	養護教諭の歴史を学び、「養護」の概念を習得する中で、養護教諭の職務である「児童生徒の養護をつかさどる」ことの内実を理解し、養護教諭の役割について考える。養護教諭の職務の不易と流行を理解し、求められる養護教諭の役割について考察する。						
テキスト	新養護概説						
授業計画	第1回	養護とは					
	第2回	養護教諭の歴史①					
	第3回	養護教諭の歴史②					
	第4回	養護教諭の職務と役割					
	第5回	これからの養護教諭に求められる資質能力					
	第6回	学校保健計画と保健室経営					
	第7回	保健管理					
	第8回	健康診断					
	第9回	健康教育					
	第10回	保健学習					
	第11回	保健指導					
	第12回	健康相談					
	第13回	保健組織活動					
	第14回	安全管理と危機管理					
	第15回	総括					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	人体機能学	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	池 茜	実務経験の有無		×		
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・体液とその循環について説明できる。 ・内部環境の恒常性について説明できる。 ・調節機能について説明できる。 					
授業概要	ヒトの生命の営みを可能にしているからだのはたらきについて、人間の日常生活行動と関連させて学習する。					
テキスト	人体機能学・人体構造学					
授業計画	第1回	体液とその循環①				
	第2回	体液とその循環②				
	第3回	体液とその循環③				
	第4回	体液とその循環④				
	第5回	体液とその循環⑤				
	第6回	内部環境の恒常性の維持①				
	第7回	内部環境の恒常性の維持②				
	第8回	内部環境の恒常性の維持③				
	第9回	内部環境の恒常性の維持④				
	第10回	調節機構①				
	第11回	調節機構②				
	第12回	調節機構③				
	第13回	からだの不思議①				
	第14回	からだの不思議②				
	第15回	からだの不思議③				
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3		総合評価算出基準			
	以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する					

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	人体構造学	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の区分について説明できる。 ・人体を構成している器官と器官系統の構造と役割について説明できる。 						
授業概要	人体を構成している細胞・組織・器官系・器官の構造と役割、他の器官群との相互関係について学習する。						
テキスト	人体機能学・人体構造学						
授業計画	第1回	解剖学総論					
	第2回	人体を構成する細胞と組織					
	第3回	皮膚と膜					
	第4回	血液の成分					
	第5回	骨・関節					
	第6回	筋系					
	第7回	消化器系					
	第8回	呼吸器系					
	第9回	循環器系					
	第10回	泌尿器系					
	第11回	生殖器系					
	第12回	神経系①					
	第13回	神経系②					
	第14回	感覚器系					
	第15回	授業総括					
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3 以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	看護学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	大滝則子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	小学校,中学校,特別支援学校養護教諭としての実務経験を活かし、現場で求められる養護教諭の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	①学校における救急処置方法を根拠を踏まえて説明できる ②学校看護における養護教諭の役割と職務内容について理解する						
授業概要	学校で子どもたちや教職員の命を守るために必要な看護に関する専門的な知識を身につける						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術						
授業計画	第1回	養護教諭の役割と救急処置					
	第2回	救急処置の基本・バイタルサイン					
	第3回	アセスメント					
	第4回	心肺蘇生法					
	第5回	ショック・出血・創傷処置					
	第6回	呼吸困難、発熱、けいれん、咳					
	第7回	めまい・立ち眩み・悪心・嘔吐・倦怠感					
	第8回	異物、骨折・脱臼・捻挫・打撲					
	第9回	中毒、熱中症、熱傷・火傷、凍傷、電撃、溺水					
	第10回	食物アレルギー児への対応					
	第11回	学校不適応児への対応					
	第12回	発達障害児への対応					
	第13回	虐待の対応					
	第14回	他職種との連携					
	第15回	看護学まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	公衆衛生学 I	授業形態	講義	単位数	2 単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として						
授業のねらい (到達目標)	人々の身体的・精神的・社会的な健康を保持・増進し疾病を予防することであることを理解し、公衆衛生活動に必要な基礎知識とその活用にあたっての考え方を学ぶ。						
授業概要	多要因からなる健康の成り立ちを理解し、健康的な生活の保持増進と疾病の予防のために、広い視野に立って考えることができるよう関連する行政施策や法規、社会医学、医療倫理等を結びつけながら学習する。						
テキスト	公衆衛生学 I						
授業計画	第1回	公衆衛生学とは					
	第2回	保健統計					
	第3回	主な疾患の予防					
	第4回	環境保健					
	第5回	地域保健と保健行政					
	第6回	国際保健医療					
	第7回	疫学					
	第8回	歯科保健と障害児・者保健福祉					
	第9回	学校保健					
	第10回	産業保健					
	第11回	高齢者の保健・医療・介護					
	第12回	食品衛生ならびに感染性疾患への対策					
	第13回	精神保健					
	第14回	健康危機管理・災害保健					
	第15回	母子保健					
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3 以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	臨床医科学 I	授業形態	講義	単位数	2 単位		
担当教員	中川沙織	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	薬剤師免許所持 認定臨床化学者証所持						
授業のねらい (到達目標)	病気の発生に関する基本概念について説明できる						
授業概要	看護と病理学との関係性を知り, 病気の原因や組織障害の修復, 感染症や病理診断との関係性を学ぶ						
テキスト	系統看護学講座 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①						
授業計画	第1回	看護と病理学					
	第2回	疾病の原因					
	第3回	細胞の損傷とその原因					
	第4回	細胞の修復と創傷治癒					
	第5回	循環障害					
	第6回	炎症と免疫					
	第7回	アレルギーと自己免疫疾患					
	第8回	感染症①					
	第9回	感染症②					
	第10回	代謝障害					
	第11回	老化と死					
	第12回	先天異常と遺伝子異常					
	第13回	腫瘍					
	第14回	病理診断					
	第15回	総括					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期									
科目名	臨床医科学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	中川沙織	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	薬剤師免許所持 認定臨床化学者証所持													
授業のねらい (到達目標)	各器官系に生じる代表的な疾患とその病態生理について説明できる													
授業概要	臨床医科学Ⅰで得た知識をもとにして、各器官系に生じる病気ごとに原因、病気の成り立ちや回復過程について学習する。													
テキスト	系統看護学講座 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①													
授業計画	第1回	循環器系の疾患												
	第2回	血液・造血器の疾患												
	第3回	呼吸器系の疾患①												
	第4回	呼吸器系の疾患②												
	第5回	消化器系の疾患①												
	第6回	消化器系の疾患②												
	第7回	腎・泌尿器系の疾患												
	第8回	生殖器系の疾患												
	第9回	内分泌系の疾患												
	第10回	脳・神経系の疾患												
	第11回	筋肉系の疾患												
	第12回	骨折および骨疾患												
	第13回	感覚器系												
	第14回	総括①												
	第15回	総括②												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	道徳教育論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	橋本 定男	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	道徳教育の授業理論や発達段階に応じた授業実践について学修し、道徳の学習指導案を作成できる能力を養う。						
授業概要	道徳教育の改訂の経緯、道徳教育の基本的なあり方、目標と内容、指導計画、道徳の時間の指導、全教育活動における指導、家庭・地域社会との連携、道徳教育における児童理解と評価の意義、道徳的、倫理的課題について学修する。						
テキスト	自ら学ぶ道徳教育						
授業計画	第1回	道徳教育は必要か(1)(教科書:第1章) 道徳とは何かを確認したうえで、学校教育における道徳と他の授業科目(国語・算数など)との違いをおさえる。					
	第2回	道徳教育は必要か(2)(教科書:第1章) 「手品師」という人気道徳教材をもとに、道徳授業のあり方を考える。					
	第3回	道徳と倫理(教科書:第2章) 道徳と倫理をめぐる人類の叡智と学問的な蓄積を、歴史にさかのぼって通観する。					
	第4回	道徳教育の歴史(教科書:第3章) 日本の道徳教育の歴史を、その時々々の社会・政治体制との影響関係を通じて理解する。					
	第5回	道徳教育における発達と生成(教科書:第4章) 心理学者コールバーグの理論を踏まえながら、日本映画『アカルイミライ』を題材にして現代社会における道徳形成のあり方を考える。					
	第6回	道徳規範の諸側面(1)(教科書:第5章) 普遍的な道徳的価値があるとする道徳的絶対主義と、道徳的価値は個人や社会や文化圏によって異なるとする道徳的相対主義の違いを理解する。					
	第7回	道徳教育の諸側面(2)(教科書:第5章) 道徳的絶対主義と道徳的相対主義の違いを踏まえながら、個人と他者との関係を考察する。					
	第8回	悪について(教科書:第7章) 道徳を、「よさ」からではなく、「悪」から検討することで、道徳認識の射程を広げる。					
	第9回	情報社会の倫理(教科書:第8章) 社会の変化に伴って生じている新たな道徳・倫理的課題(ここでは「情報倫理」とその教育を検討する。					
	第10回	応用倫理(1)(教科書:第9章) 社会の変化に伴って生じている新たな道徳・倫理的課題(ここでは「生命倫理」とその教育を検討する。					
	第11回	応用倫理(2)(教科書:第9章) 社会の変化に伴って生じている新たな道徳・倫理的課題(ここでは「動物倫理」とその教育を検討する。					
	第12回	応用倫理(3)(教科書:第9章) 社会の変化に伴って生じている新たな道徳・倫理的課題(ここでは「環境倫理」とその教育を検討する。					
	第13回	道徳教育の現代的傾向と新米教師の苦悩(教科書:第10・11章) 道徳教育の変遷を確認しながら、新米教師の奮闘記を手掛かりとして、道徳教育を実践的に考える。					
	第14回	道徳の授業(教科書:第15・16章) 障がいのある子どもとの交流や養護学校との交流活動の実践を検討する。					
	第15回	道徳をめぐる個人的視点を社会的視点 これまでの授業を振り返りながら、道徳をめぐる個人と社会の関係を捉えなおす。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	特別活動指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	橋本 定男	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	小学校教員としての基礎的知識を身に付ける教科として、教育課程の領域に位置づく特別活動についての理解を深めるとともに、特別活動を進めることのできる教員としての実践的指導力の基礎を培う。						
授業概要	学校教育活動における特別活動の意義、目標、内容について、歴史的変遷を踏まえて考察するとともに、児童の集団活動の指導、支援を進めていくために求められる教員の資質・能力について考察する。						
テキスト	姫路大 テキスト 特別活動指導法, 学習指導要領						
授業計画	第1回	特別活動の意義・必要性1					
	第2回	特別活動の意義・必要性2					
	第3回	学習指導要領の変遷と特別活動					
	第4回	特別活動の歴史					
	第5回	教育活動の編制・実施と特別活動					
	第6回	教育活動の編制・実施と特別活動					
	第7回	特別活動の評価と実践					
	第8回	特別活動の指導					
	第9回	特別活動の指導					
	第10回	特別活動と現代の課題					
	第11回	特別活動の実際					
	第12回	特別活動の実際					
	第13回	学級経営・ホームルーム経営					
	第14回	体験的な活動の展開					
	第15回	特別活動と地域社会との連携					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	国語科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	仲川容子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	指導主事, 小学校校長等の経歴あり						
授業のねらい (到達目標)	確かな国語の力が付く授業づくりの基本を, 体験を通して理解することを目的とする。						
授業概要	1 小学校学習指導要領(国語)の目標及び内容を踏まえ, 授業づくりの基本的枠組みを説明することができる。 2 国語科学習指導案及び「板書・発問計画」を作成し, 模擬授業に向けた練習を行うことができる。						
テキスト	国語科指導法 I (姫路大学), 国語 五 銀河, わたしが素直になれるとき, 小学校学習指導要領解説 国語編						
授業計画	第1回	学習指導要領 国語編の変遷概要					
	第2回	新学習指導要領国語編 ・改訂のポイント					
	第3回	・領域と指導事項					
	第4回	言語活動の充実を図った学習指導					
	第5回	言語活動の充実を図った学習指導					
	第6回	言語活動の充実を図った学習指導					
	第7回	学習指導案の作成					
	第8回	学習指導案の作成					
	第9回	学習指導案の作成					
	第10回	学習指導案の作成					
	第11回	学習指導案の作成					
	第12回	学習指導案の作成					
	第13回	学習指導案の作成					
	第14回	言語事項の指導					
	第15回	言語事項の指導					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	社会科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	有田 一正	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	「社会事象に興味・関心を持って取り組む」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書等から確認し理解する。 小学校社会科の指導方法について具体的な資料等を通して学び、実践的な指導力を身につける。					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科及び学年の目標と内容について再確認する。 ・各学年の年間計画と各単元の指導計画の作成について具体的に学習する。 ・これらの学習を踏まえ、児童が社会的事象に興味・関心をもって主体的に社会科の授業に取り組み、確かな学力を身につける問題(課題)解決学習などの指導法に重点を置いて学習する。 ・総合的な学習の時間との関連についても学ぶ。 					
テキスト	社会科教育のルネサンス—実践知を求めて—					
授業計画	第1回	「小学校でねらう公民的資質の基礎」について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書等で確認し理解する。				
	第2回	小学校社会科第3・4学年の目標について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書で理解する。				
	第3回	小学校社会科第5・6学年の目標について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書で理解する。				
	第4回	小学校社会科第3・4学年の内容について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書から確認し理解する。				
	第5回	小学校社会科第5学年の内容について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書から確認し理解する。				
	第6回	小学校社会科第6学年の内容について、「小学校学習指導要領解説 社会編」及び教科書から確認し理解する。				
	第7回	「確かな学力を身につける社会科の授業」について、「学習指導要領解説 社会編」の改訂の趣旨や教科書を確認し、観点別学習票の趣旨等を理解し、学習指導案を作成する。				
	第8回	模擬授業を振り返り、授業改善を図る手立てを具体的に考えまとめる。「社会的な見方や考え方」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書等から確認し理解する。				
	第9回	「社会科における言語活動の充実」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書等から確認し理解する。				
	第10回	「社会科における問題解決学習」について、これまでの授業実践や研究成果を踏まえ、教科書等から理解する。				
	第11回	「社会科における体験的学習」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書等から理解する。				
	第12回	「小学校社会科と総合的な学習の時間の関連」について、総合的な学習が誕生した背景を理解し、社会科と総合的な学習の時間の共通点と相違点を確認しながら理解する。				
	第13回	「小学校社会科の年間指導計画作成のポイント」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書から理解する。				
	第14回	「小学校社会科の単元の指導計画作成のポイント」について、単元の目標や指導計画、単元の展開のポイント、評価の手立て等について教書を整理し確認する。				
	第15回	「社会事象に興味・関心を持って取り組む」について、「学習指導要領解説 社会編」、教科書等から確認し理解する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	算数科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	佐藤重勝	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	教育センター, 指導主事, 校長等経験。						
授業のねらい (到達目標)	算数科にかかる学習内容をふまえ, 実践的指導法を学ぶ。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 算数教育の目標を学ぶ 数の誕生と数の概念について知り, 算数科の特徴を学ぶ 量と測定, 整数と計算, 数量関係, 図形等の学習内容の特徴を理解する 算数科の学習指導案を作成し, 模擬授業を行う。 						
テキスト	小学校学習指導要領解説 算数編						
授業計画	第1回	算数教育の目標・意義と今日的課題					
	第2回	算数科の特性					
	第3回	算数科の指導案作成					
	第4回	「量と測定」の指導法					
	第5回	「数と計算」領域の指導法					
	第6回	「変化と関係」「データの活用」領域の指導法					
	第7回	授業分析の方法					
	第8回	数量関係					
	第9回	指導案作成と模擬授業					
	第10回	指導案作成と模擬授業					
	第11回	指導案作成と模擬授業					
	第12回	指導案作成と模擬授業					
	第13回	指導案作成と模擬授業					
	第14回	指導案作成と模擬授業					
	第15回	総括					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	理科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・学習指導要領やテキスト、教科書の実践例から学習指導について学び、理科指導法を実践的に習得することを目指す。						
授業概要	・学習指導要領やテキストから、学習指導要領の改訂の意図、小学校理科の目標をより具体的に学ぶ。 ・各分野の学習材、指導事例から学習指導の方法、指導案、留意事項等を実践的に学ぶ。						
テキスト	理科指導法(姫路大学)						
授業計画	第1回	学習指導案の書き方～価値ある内容をどんな育ちの子どもたちにどう教えるか～					
	第2回	問題解決学習と科学的な見方・考え方					
	第3回	理科の内容、目標、方法					
	第4回	ICTの活用(パワーポイント、動画、写真等の活用)					
	第5回	理科における協同学習の方法(話し合いのルールと発表の仕方)					
	第6回	理科における指導と評価の一体化					
	第7回	意外性のある実験が入った授業～深い学びに導くには～					
	第8回	発問と予想の提示の仕方～問題解決学習から見通しを持った実験・観察の方法を学ぶ					
	第9回	板書の計画の立て方～情報活用・表現スキル育成と板書の構成の仕方を学ぶ。					
	第10回	模擬授業の実践①「比較実験」～物質領域:小学校3年～電気を通すもの、磁石につくもの					
	第11回	模擬授業の実践②「関係付け実験」～エネルギー領域:小学校4年～電池の並び方、もののがたまり方					
	第12回	模擬授業の実践③「条件制御実験」～エネルギー領域:小学校5年～ふりこのきまり、電磁石のはたらき					
	第13回	模擬授業の実践④「多面的判断、推論実験」～物質領域:小学校6年～水溶液の性質、金属と酸・アルカリ					
	第14回	模擬授業の実践⑤「多面的判断、推論実験」～地球領域:小学校6年～月と太陽、大地のつくりとはたらき					
	第15回	模擬授業を振り返って ～論作文「模擬授業体験から主体的で対話的な深い学びに導く授業とは」～					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	生活科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・学習指導要領やテキストから、生活科の授業実践を学び、学習指導の方法を習得することを目指す。						
授業概要	・学習指導要領やテキストから、生活科の新設の経緯、学習指導要領の改訂の意図、生活科の内容を学ぶ。 ・保小における生活保育と小学校における生活科との接続を理解し、小学校での授業の在り方を学ぶ。						
テキスト	生活科指導法(姫路大学)						
授業計画	第1回	生活科指導法の目標や動向の確認及び幼児教育との連携の在り方					
	第2回	体験や活動を重視した学習活動(楽しく分かる授業の工夫)					
	第3回	気付きの質や伝え合い活動を重視した学習活動(導入及び具体物や教材の工夫)					
	第4回	指導計画の作成と学習指導のポイント(目標と評価を踏まえた学習活動の検討)					
	第5回	生活科の目指す学力と評価の在り方(評価基準・場面・方法の考察及び検討)					
	第6回	生活科の9つの内容と3つの階層性(第1の階層・第2の階層・第3の階層)における指導方法検討					
	第7回	指導法の総括(考察及びまとめ)					
	第8回	生活科指導法の実践における指導上の留意点の検討					
	第9回	第1の階層「学校と生活」における指導方法の実践的な検討					
	第10回	第1の階層「家庭と生活」「地域と生活」における指導方法の実践的な検討					
	第11回	第2の階層「公共物や公共施設の利用」「季節の変化と生活」における指導方法の実践的な検討					
	第12回	第2の階層「自然や物を使った遊び」における指導方法の実践的な検討					
	第13回	第2の階層「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の伝え合い」における指導方法					
	第14回	第3の階層「自分の成長」における指導方法の実践的な検討					
	第15回	指導法の総括(模擬授業によって表面化した課題の検討)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	家庭科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	菊地 順子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活に焦点をあて、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。						
授業概要	教科としての「家庭科」の意義と、小学校における「家庭科」の目標、内容、指導方法について、平成29年告示をもとに習得する。また「家庭科」から総合的な学習の時間などへの提案についても学ぶ。						
テキスト	小学校学習指導要領解説 家庭編, 私たちの家庭科5・6年						
授業計画	第1回	小学校家庭科の変遷、改訂の流れ及び育成すべき学習内容の理解					
	第2回	平成29年改訂の小学校学習指導要領の基になっている平成28年中央教育審議会答申を読み、これからの家庭科教育における課題を掴む。					
	第3回	平成29年改訂小学校学習指導要領家庭科において改訂された部分を把握し、これからの家庭科教育の在り方を理解する。					
	第4回	小学校家庭科の学習の基礎・基本について衣食住を中心に理解する。					
	第5回	家庭科指導の学習指導のあり方の特徴について、児童や地域の実態などの日常生活に合う題材の実践的活動の工夫を学ぶ。					
	第6回	家庭科の学習内容の全体構造について学ぶ。					
	第7回	家庭科における「基礎・基本」について体験的・実践的活動を通じた授業について学ぶ。					
	第8回	家庭科における実践的な態度の育成について学ぶ。					
	第9回	家庭科における学習評価 観点別による評価や評価方法を理解する。					
	第10回	家庭科と総合的な学習の時間や道徳などとの関連を学ぶ。					
	第11回	小学校の家庭科と他教科との関連、中学校家庭科との関連について学ぶ。					
	第12回	題材構成をした授業計画の構想1 参考文献などの実践例から授業指導計画を学び、学習展開や題材構成についてポイントを理解する。					
	第13回	題材構成をした授業計画の構想2 参考文献などの実践例から題材構成をし、授業指導計画の構想、学習指導案の作成をする。					
	第14回	題材構成をした授業計画の構想3 授業指導計画の中から本時の学習展開を構想し、作成する。					
	第15回	1～3回の内容を中心に設題1について文章化する。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	音楽科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県公立中学校音楽講師0.5か年, 小学校教員1年, 山形県小学校教員(音楽専科)1年, 普通教員8か年, 国立上越教育大学, 大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート2か年						
授業のねらい(到達目標)	小学校で音楽を担当するために必要な、知識や技能の基礎を学ぶことを目的とする。音楽授業を行う前提として、音を音楽として感じ取る力や、音楽的な表現力は不可欠である。できるだけ多くの実習(聴く・歌う・奏する・創る)を取り入れ、音楽経験を深めていく。						
授業概要	①音楽科の学年別目標と内容、教材を理解する ②歌唱共通教材全24曲について理解する ③小学校音楽科授業における各領域の指導方法理解と模擬授業実践する						
テキスト	音楽科指導法(姫路大学テキスト)／音楽のおくりもの1～6(教育出版)						
授業計画	第1回	音楽科授業と教科書／レポート作成について/指揮法① -「音楽教育」と「音楽科教育」の違い-					
	第2回	小学校音楽科学習指導要領 <目標・内容>① -実際の教科書で確認してみよう- 【後半】指揮法②, 共通教材①②③					
	第3回	【前半】小学校音楽科学習指導要領 <目標・内容>② -実際の教科書で確認してみよう- 【後半】指揮法③, 共通教材④⑤⑥					
	第4回	【前半】指揮法③, 共通教材⑦⑧⑨ 【後半】教材研究と指導計画① -教材設定とねらい-					
	第5回	【前半】教材研究と指導計画②-指導案と評価- 【中間】低学年の鑑賞領域授業, 【後半】共通教材⑩⑪⑫					
	第6回	【前半】音楽科授業の実際-音楽科学習記録映像から学び取ろう- 【後半】中・高学年の鑑賞領域授業					
	第7回	【前半】音楽科学習指導案の理解と作成-教材や学習過程を設定してみよう- 【後半】低学年器楽領域の授業 【後半】共通教材⑬⑭⑮					
	第8回	【前半】中・高学年器楽領域の授業 【後半】音楽科学習指導案の理解と作成-様々な指導方法-					
	第9回	【前半】「諸外国の音楽」の授業 【後半】共通教材⑯⑰⑱⑲⑳					
	第10回	【前半】他教科との関連, 教職員との連携, 幼稚園教育とのつながり 【後半】模擬授業のねらいと方法㉑㉒㉓㉔					
	第11回	学生による模擬授業と省察 1人目 2人目					
	第12回	学生による模擬授業と省察 3人目 4人目					
	第13回	学生による模擬授業と省察 5人目 6人目					
	第14回	学生による模擬授業と省察 7人目 8人目					
	第15回	模擬授業のふり返り					
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	国語 I	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	仲川容子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	指導主事, 小学校校長等の経歴あり						
授業のねらい (到達目標)	小学校国語科の構造や目標, 内容, 指導の在り方など, 小学校における国語科教育の基礎的・基本的な事柄について習得することを目的とする。						
授業概要	① 小学校国語科の目標及び内容構成について説明することができる。 ② 国語科教育の重要性や必要性について, 自分の考えを述べることができる。 ③ 国語科教育の実践につながる課題や手掛かりをつかむことができる。						
テキスト	国語 I (姫路大学)						
授業計画	第1回	国語とはなにか 世界の言葉と国語の特徴					
	第2回	音韻と音声					
	第3回	語彙と外来語					
	第4回	社会の中の敬語					
	第5回	漢字の組織と役割					
	第6回	かなの成り立ちと使い方 国語の歴史					
	第7回	こどもの言語の習得					
	第8回	国語の文法					
	第9回	国語の品詞					
	第10回	方言と共通語					
	第11回	国語の政策史					
	第12回	国語の政策史					
	第13回	子どもの言語習得について					
	第14回	母語と母国語					
	第15回	総括					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する			50%	25%	10%	15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	社会	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	有田 一正	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	小学校社会科の目標と内容について、小学校学習指導要領解説・社会編を基にして学修し、理解を深める。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 今回の学習指導要領の改訂における小学校社会科の改訂のねらいと社会科の目標及び各学年の目標と指導内容の特色等について具体的に学修する。 学び方や調べ方を身につける学習や体験的な学習、問題解決的な学習を一層重視する社会科学学習のあり方についても学修する。 						
テキスト	社会科教育のルネサンス—実践知を求めて—						
授業計画	第1回	課題:「社会科」に期待されていることは何だろう。テキストpp.1-9を読み、改訂された学習指導要領の性格をまとめよう。					
	第2回	課題①:教育基本法より、社会科に関係する箇所・条文を見つけよう。 課題②:戦後に登場した社会科はどのような内容であったのか。					
	第3回	課題:各学年の目標のうち、「理解に関する目標」「態度に関する目標」について注目し、学年を追ってどのような発達を子どもに期待しているのか説明してみよう。					
	第4回	課題①:指導計画を作成する上での配慮事項をまとめよう。 課題②:各学年にわたる内容の取り扱いと指導上の配慮事項をまとめよう。					
	第5回	課題:学習指導作成にあたってのポイントを整理しよう。					
	第6回	設題:社会科における「言語活動」はどうあるべきか。具体的な指導方法を取り上げ、どう評価するのか説明しよう。					
	第7回	第3・4学年の地域学習① 課題:「地域における社会的事象を観察や調査する」にあたり具体的に組み立てる時のポイントを指摘しよう。					
	第8回	第3・4学年の地域学習② 課題:地域図から「地形」「土地の利用の様子」を読み取ろう。					
	第9回	第3・4学年の地域学習③ 課題:地域巡検を実践しよう。					
	第10回	第5学年の国土学習 課題:我が国の位置と領土について調べる際の留意点について説明しよう。					
	第11回	第5学年の産業学習 課題:統計資料にはどのような種類があるのか。又それぞれの特性について考えよう。					
	第12回	第6学年の国際社会と日本の学習 課題:「グローバル化する世界と日本の役割」をどう学ばせるのか、具体的に学ばせる時のポイントを指摘しよう。					
	第13回	課題:指導計画の作成にあたっての配慮事項にはどのようなものがあるのか、要点をまとめよう。					
	第14回	課題:内容の取り扱いについての配慮事項にはどのようなものがあるのか、要点をまとめよう。					
	第15回	課題:学習指導案作成にあたってのポイントを整理しよう。授業の時に大切にすることは何か。その根拠も含めて各々リストアップしてみよう。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	算数	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	佐藤重勝	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	教育センター, 指導主事, 校長等経験。						
授業のねらい (到達目標)	算数科にかかる学習指導要領、教科書を土台にテキストを中心として理論と実践を学ぶ。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 算数教育の目標を学ぶ 数の誕生と数の概念について知り、算数科の特徴を学ぶ 量と測定, 整数と計算, 数量関係, 図形等の学習内容の特徴を理解する 						
テキスト	新訂算数教育の理論と実際						
授業計画	第1回	数の誕生と概念					
	第2回	算数教育の目標					
	第3回	量と測定					
	第4回	量と測定					
	第5回	整数と計算					
	第6回	整数と計算					
	第7回	数量関係					
	第8回	数量関係					
	第9回	算数問題演習					
	第10回	小数と計算					
	第11回	小数と計算					
	第12回	分数と計算					
	第13回	分数と計算					
	第14回	図形					
	第15回	図形					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期									
科目名	臨床実習事前・事後指導	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	大滝 則子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	小学校,中学校,特別支援学校養護教諭としての実務経験を活かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	看護臨床実習に対する理解を深め実習生としての態度や心構えをみにつける													
授業概要	実習の意義と心構えを理解し、実習に必要な知識や技術を再確認し自己課題を明確にする													
テキスト														
授業計画	第1回	実習の目的と意義												
	第2回	実習の概要①												
	第3回	実習の概要②												
	第4回	医療機関実習の心構え												
	第5回	看護の基礎知識												
	第6回	バイタルサインの測定												
	第7回	観察の観点とフィジカルアセスメント												
	第8回	体位変換・安楽な姿勢												
	第9回	包帯法・三角巾												
	第10回	小児科・内科												
	第11回	精神科・神経科												
	第12回	外科・整形外科												
	第13回	眼科・耳鼻咽喉科												
	第14回	皮膚科・産婦人科												
	第15回	実習の課題												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	理科	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	学習指導要領や教科書から、授業での実践を学ぶ、学習指導の方法を習得することを目指す。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現行学習指導要領が改訂されるまでの経緯を踏まえ、小学校理科の目標について学ぶ。 ・小学校理科の各領域の基本事項を教科書の指導事例を考察し、指導方法を実践的に学ぶ。 						
テキスト	理科(姫路大学)						
授業計画	第1回	1章 学習指導要領に見る小学校理科の全貌 —小学校理科で培いたい資質・能力が何か知る—					
	第2回	2章 授業構想 ～事例研究～ 3. 3年 じしゃくにつくもの					
	第3回	2章 授業構想 ～事例研究～ 6. 4年 かん電池とモーターの回る速さ					
	第4回	2章 授業構想 ～事例研究～ 14. 5年 ふりこが1往復する時間					
	第5回	3章 「化学」領域の内容の基本事項 粒子概念 小学校6年 水溶液のはたらき					
	第6回	学習指導要領 第2章理科の目標及び内容 第2節理科の内容構成 思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等に関する学習指導要領の主な記載					
	第7回	2章 授業構想 ～事例研究～ 19. 6年 月の形の見え方と太陽 4章 「地学」領域の内容の基本事項 1 地球の周辺 小学校4年 月と星					
	第8回	2章 授業構想 ～事例研究～ 2. 3年 電気を通すもの・通さないもの					
	第9回	2章 授業構想 ～事例研究～ 4. 3年 ものの形と重さ					
	第10回	2章 授業構想 ～事例研究～ 7. 4年 とじこめた空気のせいしつ					
	第11回	2章 授業構想 ～事例研究～ 16. 5年 電磁石の強さが変わる条件					
	第12回	2章 授業構想 ～事例研究～ 20. 6年 てこのうでをかたむけるはたらき					
	第13回	5章 「地学」領域の内容の基本事項 2 地球の内部 小学校6年 土地のつくりと変化					
	第14回	6章 小学校理科と中学校理科との関連					
	第15回	7章 小学校理科と中学校理科との関連 義務教育で培いたい進化・遺伝・生態の概念					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	公衆衛生学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として						
授業のねらい (到達目標)	<p>1.わが国の社会保障制度を概説できる。</p> <p>2.集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握する上での人口統計の意義を概説できる。</p> <p>3.人口統計および傷病統計に関する指標について概説できる。</p> <p>4.地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について概説できる。</p> <p>5.環境汚染(大気汚染、水質汚濁など)の原因、およびそれを防止するための法規制等について概説できる。</p> <p>6.食中毒の原因となる代表的な細菌等を列挙し、その特徴を概説できる。</p> <p>7.疾病の予防における疫学の役割を説明できる。</p> <p>8.疾病の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。</p> <p>9.リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明できる。</p>						
授業概要	<p>集団の健康保持及び増進のための施策策定及びその情報となる統計の概念と実際を、最近の国民衛生の動向を確認しながら学ぶ。</p> <p>また、学校保健の領域で活用される統計指標及び評価手法について理解する。</p>						
テキスト	公衆衛生学Ⅱ						
授業計画	第1回	わが国の社会保障制度の動向					
	第2回	保健医療分野の国際協力					
	第3回	公衆衛生の主要指標①					
	第4回	公衆衛生の主要指標②					
	第5回	健康状態と受療状況					
	第6回	感染症対策①					
	第7回	感染症対策②					
	第8回	食品の安全と食中毒					
	第9回	環境保健					
	第10回	学校保健					
	第11回	特別支援教育					
	第12回	疫学					
	第13回	スクリーニング					
	第14回	医療保険と介護保険					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	健康相談活動	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	大滝則子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	小学校,中学校,特別支援学校養護教諭としての実務経験を活かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	養護教諭の職務の特質や保健室の機能を十分に生かし、常に心的要因や背景を念頭に置いた心身の観察、問題の背景の分析、解決のための支援や、関係者との連携など、身体面・精神面に配慮した援助ができる能力を養う。						
授業概要	子どもが抱える問題の種類・重要度・緊急度をアセスメントする能力を養う。 また養護教諭の職務は心と身体の両面への対応を行うものであるため、身体的な訴えに対する手当を行いながら、精神面も配慮した援助を行うことができるようになる。 健康に関する現代的課題と心の健康問題との関連を理解する。						
テキスト	姫路大学 健康相談活動						
授業計画	第1回	健康相談と保健室					
	第2回	健康相談活動科目の設置経緯					
	第3回	養護教諭の職務・保健室の機能・保健室経営					
	第4回	学校における健康相談の基本的理解					
	第5回	健康相談の基本的プロセス					
	第6回	子どもの健康問題を取り巻く状況					
	第7回	子どもの心の健康問題					
	第8回	不登校・保健室登校					
	第9回	児童虐待・いじめ					
	第10回	基本的な相談技術及び留意点					
	第11回	学校内外の支援体制づくり					
	第12回	記録・個人情報の保護・健康相談に必要な力量と学び					
	第13回	事例検討①					
	第14回	事例検討②					
	第15回	ロールプレイ					
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3 以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	RGS	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	本田拓也	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の就職活動を成功させるために、自己分析の方法を身に付ける。 ・エントリーシートや面接のやり方を学び、実際の場面で生かせるようにする。 						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・園研究と自己分析を中心に、次年度の就職活動が具体的かつ効率的に行われるように授業を展開していく。 						
テキスト							
授業計画	第1回	自己の目標について考える。					
	第2回	自己分析①					
	第3回	自己分析②					
	第4回	自己分析③					
	第5回	自己分析④					
	第6回	園研究①					
	第7回	園研究②					
	第8回	園研究③					
	第9回	園研究④					
	第10回	スーツ講座					
	第11回	履歴書の書き方、面接の方法を学び、実践する。					
	第12回	模擬面接					
	第13回	面接マナーの復習、履歴書の確認					
	第14回	就職実務研修					
	第15回	メイク講座・写真撮影					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行						
授業のねらい (到達目標)	保育の「すきま時間」を楽しく有効に活用するための様々な遊びを習得する 自ら調べて保育のポケットの充実を図ると共に、演じ方や応用法を習得し現場での実践力をつける						
授業概要	創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演して学びあう 活動の切れ間など、ちょっとした時間にすぐ楽しめるあそびを様々なジャンルから探し、 確実に使えるものになるよう 必要なものを作ったり使用法を考えてまとめていく						
テキスト	「すきま時間あそび107」&必用に応じプリント配布						
授業計画	第1回	テキスト「すきま時間あそび」を一冊まるごと遊んでいく					
	第2回	↓					
	第3回						
	第4回					一週間実習に備え、ポケットネタ帳を充実させたり簡単グッズを作る	
	第5回	幼稚園実習と就職後を見据え、様々な年齢・場面で使えるグッズを各々調べて作りためていく					
	第6回	フォーカラーマジックの制作					
	第7回	※グッズは難易度によって1～5個程度。 一つ完成するたびにみんなの前で発表と展示を繰り返していく					
	第8回						
	第9回						
	第10回	グループに分かれてフォーカラーマジックのできるものを発表し合い実践する時のレパートリーを増やしていく					
	第11回						
	第12回						
	第13回	↓ グッズの集大成の発表と展示					
	第14回	体を動かすあそびうた・ふれあいあそび・体操など					
	第15回	ものを使っての遊び・ゲームなど					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)									
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら調べて保育のポケットを充実させる・実践方法を研究し合い現場での実践力をつける ・授業で提供される遊びの教材なども確実に使えるようにする 													
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育のポケットの充実 ・日々の保育で使える保育グッズの制作 ・季節感のある様々なあそびについての学びを通し、発展の方法を考える 													
テキスト	「すきま時間あそび」とプリント													
授業計画	第1回	動くおもちゃ・化学系おもちゃの制作とあそび方												
	第2回	〃												
	第3回	〃												
	第4回	校外学習準備												
	第5回	校外学習で公園に出かけ、自然に触れる 自然物を採取する												
	第6回	〃												
	第7回	自然物を使った制作をする												
	第8回	〃												
	第9回	グッズ制作(クリスマス関連含む)												
	第10回	〃												
	第11回	〃 (見せ合いと実践発表)												
	第12回	毛糸関連の制作とあそび												
	第13回	〃												
	第14回	冬の手あそびふれあい遊び												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	リトミック	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。						
授業概要	「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、ティーチング、リズムの演奏法を修得する。						
テキスト	「幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児用」 「幼稚園、保育園のための4歳児用」 「幼稚園、保育園のためのリトミック 5歳児用」						
授業計画	第1回	リトミックについて 楽しいリトミックの経験					
	第2回	楽しいリトミックの経験 強弱・テンポ・空間・アクセント					
	第3回	基礎リズム 基礎リズムパターンの理解と指導上の留意点					
	第4回	3歳児指導法-1学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期)					
	第5回	楽しいリトミックの経験 基礎的な動き					
	第6回	基礎リズム(2拍子) 拍子					
	第7回	3歳児指導法-2学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期)					
	第8回	楽しいリトミックの経験 基礎リズム(2拍子)					
	第9回	拍子 ティターティ・ターイティを含む					
	第10回	3歳児指導法-3学期 リズムの演奏法-3学期					
	第11回	楽しいリトミックの経験 基礎リズム(3・4拍子)					
	第12回	拍子 楽しいリトミックの経験					
	第13回	リズムカノン導入 リズムフレーズ2・3拍子					
	第14回	リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期) リトミックの理論とダルクルーズについて					
	第15回	2級 資格認定試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	リトミック	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。						
授業概要	「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、ティーチング、リズムの演奏法を修得する。						
テキスト	「幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児用」 「幼稚園、保育園のための4歳児用」 「幼稚園、保育園のためのリトミック 5歳児用」						
授業計画	第1回	リズム ティーチング					
	第2回	リズムの演奏法 理論					
	第3回	4歳児指導法-1学期 4歳児指導法-2学期					
	第4回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3拍子					
	第5回	リズムフレーズ2・3拍子 リズムの演奏法(4歳児指導法-1~2学期)					
	第6回	4歳児指導法-3学期 5歳児指導法-1学期					
	第7回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3・4拍子					
	第8回	複リズム(Ostinatoター) リズムの演奏法(4歳児指導法-3学期)					
	第9回	リズムの演奏法(5歳児指導法-1学期) 5歳児指導法-2学期					
	第10回	5歳児指導法-3学期 楽しいリトミックの経験					
	第11回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第12回	リズムの演奏法(5歳児指導法-2~3学期) 楽しいリトミックの経験					
	第13回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第14回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター) リトミックの理論とダルクロワーズについて					
	第15回	1級 資格認定試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)	
科目名	こどもと音楽表現Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	目を間違つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で習得した技術の上に乗って、あらためて保育現場における音楽活動に関わる知識と技術を磨く。子供の歌の特徴を理解し、正しく歌う。ピアノの弾き歌い技術をさらに高め、表現の指導法等、より高い保育・教育実践に必要な知識や技能を習得する。					
テキスト	「こどものうた50選」「ブルクミュラー25の練習曲」「コールユーブンゲン」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)	
科目名	こどもと音楽表現Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	石川美穂・川内菜央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で習得した技術の上に乗って、あらためて保育現場における音楽活動に関わる知識と技術を磨く。子供の歌の特徴を理解し、正しく歌う。ピアノの弾き歌い技術をさらに高め、表現の指導法等、より高い保育・教育実践に必要な知識や技能を習得する。					
テキスト	「ソナチネアルバム1」「幼児の四季 110曲集」「コールユーブンゲン」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ソナチネ・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						